

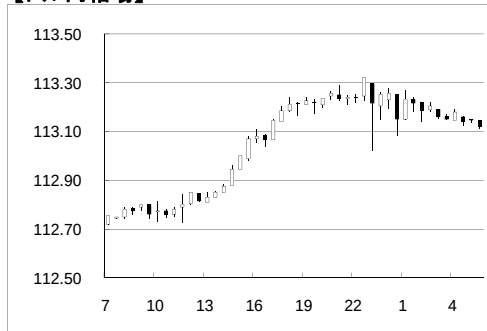
みずほCustomer Desk Report 2018/01/09 号(As of 2018/01/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.84
TKY 9:00AM	112.80	1.2066	136.10	1.3556	0.7864
SYD-NY High	113.32	1.2083	136.62	1.3583	0.7875
SYD-NY Low	112.73	1.2021	135.99	1.3525	0.7835
NY 5:00 PM	113.04	1.2028	136.03	1.3566	0.7863
NY DOW	25,295.87	220.74	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,136.56	58.64	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,743.15	19.16	米国2年債	1.9619	0.84bp
日経平均	23,714.53	208.20	米国5年債	2.2844	1.70bp
TOPIX	1,880.34	16.52	米国10年債	2.4754	2.38bp
シカゴ日経先物	23,810	140	独10年債	0.4370	0.55bp
ロンドンFT	7,724.22	28.34	英10年債	1.2450	1.20bp
DAX	13,319.64	151.75	豪10年債	2.6170	▲3.55bp
ハンセン指数	30,814.64	78.16	USDJPY 1M Vol	6.05	▲0.25%
上海総合	3,391.750	6.04	USDJPY 3M Vol	7.03	▲0.18%
NY金	1,322.30	0.70	USDJPY 6M Vol	7.55	▲0.18%
WTI	61.44	▲0.57	USDJPY 1M 25RR	-0.30	Yen Call Over
CRB指数	193.45	▲1.92	EURJPY 3M Vol	7.98	▲0.27%
ドルインデックス	91.95	0.10	EURJPY 6M Vol	8.15	▲0.23%

東京	東京時間を112.80レベルでオープン。前日の海外市場の株高の流れを引き継ぎ、日経平均は130円超高で寄り付くも、上値を迫る展開とはならず、ドル円についても様子見姿勢が優勢となり値動きに乏しい展開。その後、関東地域に緊急地震速報が発信されると、ドル円は瞬間的に上下に振幅も、大きな揺れは観測されず相場への影響は限定的となった。後場に入り日経平均が一段高となる動きを横目に円は全面安の展開となり、ドル円は一時113.08まで上伸。113.07レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は強含んだ。113.07レベルでオープン。欧州株が全般的に堅調推移していたためリスク選好から安全通貨とされる円が売られドル円は1週間ぶりの高値113.29を付けた。その後は午後発表される2017年米雇用統計を待ちながら113.25レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは底堅く推移した。1.3571レベルでオープン。全般的なドルの買戻しに1.3525まで下落するも、第3・四半期の英労働生産性が前期比0.9%へ上昇し過去6年余りで最大の伸びを記録したことやポンド円の買い等により1.3577まで上昇した。1.3554レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	113.25レベルでNYオープン。朝方は高値113.32まで上昇したが、注目の米雇用統計は非農業部門雇用者数変化が前回分が上方修正される一方、12月分が予想を下回り、平均時給は予想一致したものの前回分が下方修正されたことから米金利下落と共にドル円は113.02まで急落。しかし内容はそれほど悪くないとの見方から113.00を割り込むことは無く、113.27まで反発。その後発表された米12月ISM非製造業景況指数が予想を下回るとドル円は再び113.08まで下落。しかし113.00手前ではドル買い意欲も高く、米金利も下げたことからドル円は113.27まで反発。週末を控え午後はレンジ推移が続き、113.04レベルでクロスした。なお、米株はダウ、S&P500種、ナスダックは終値ベースで史上最高値を更新した。一方ユーロドルは1.2048レベルでNYオープン。朝方は弱い米雇用統計を受けてドル売りが強まり本日高値の1.2083まで急伸。しかし昨日の高値の1.2089が意識されたことや、米金利が反発するとユーロドルは安値1.2021まで反落。1.20台前半ではユーロ買い意欲も強く、午後にかけて1.20半ばまで値を戻し、1.2028レベルでクロスした。

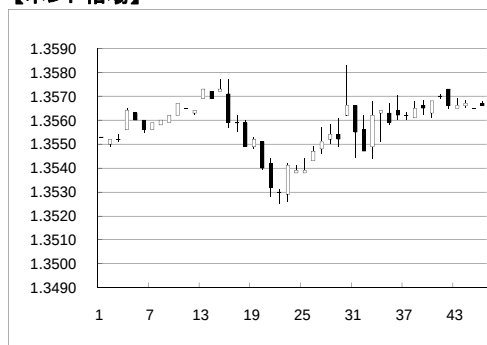
【ドル円相場】



【ユーロ円相場】

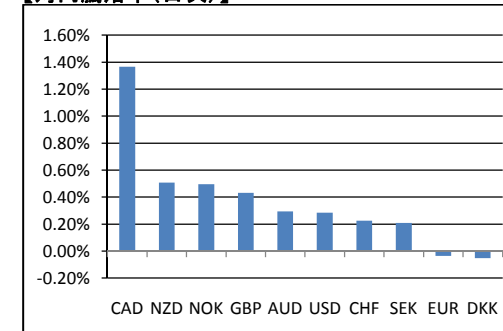


【ポンド相場】

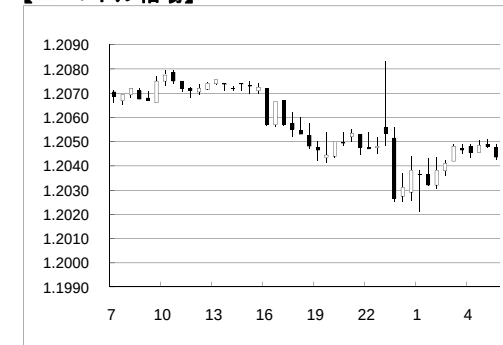


当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】

